

三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)
 〈愛称:ファーストラップ(ちょうわ)〉

月次レポート

2022年
 05月31日現在

追加型投信/内外/資産複合

■ 基準価額および純資産総額の推移



・基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
 ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。

■ 基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	10,237円
前月末比	-46円
純資産総額	17.89億円

■ 分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第7期	2022/02/07	0円
第6期	2021/02/05	0円
第5期	2020/02/05	0円
第4期	2019/02/05	0円
第3期	2018/02/05	0円
第2期	2017/02/06	0円
設定来累計		0円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

■ 騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.4%	-0.4%	-3.5%	-2.8%	2.8%	2.4%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
 また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
 ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
 ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

■ 当月の基準価額の変動要因(概算)

	寄与度(円)
国内株式	5
外国株式	-2
国内債券	-13
外国債券	-10
オルタナティブ	-16
分配金	-
その他(信託報酬等)	-11
基準価額	-46

・基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・「その他」には信託報酬やファンドの設定解約に伴う影響等が含まれます。

■ 資産クラス配分

資産	比率
国内株式	6.6%
外国株式	5.9%
国内債券	43.9%
外国債券	15.0%
オルタナティブ	26.0%
コールローン他	2.5%

・各資産クラス配分は、投資対象とする投資信託証券の純資産総額に対する割合です。
 ・国内債券には、為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図る「ヘッジ付外国債券」を含めています。
 ・各資産クラスに対応する投資信託証券については、2ページをご覧ください。

■ 組入上位5通貨

通貨	比率
1 日本円	71.1%
2 米ドル	7.7%
3 ユーロ	5.2%
4 英ポンド	1.5%
5 豪ドル	0.4%
その他通貨	0.1%
※その他	13.9%

・為替予約等を含めた実質的な比率です。
 ・「※その他」は、グローバル・フランチャイズファンド M-2(適格機関投資家専用)(注1)、グローバル社債ファンドT(適格機関投資家専用)(注1)、ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドクラスB・JPY・アキュムレーション(注2)、ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンドクラスB・円・アキュムレーション(注3)およびスチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・サステナビリティ・ファンドクラスIII・JPY・アキュムレーション(注2)の比率を表しています。

(注1)当ファンドの組入外貨建資産については、為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。
 (注2)当外国投資法人の組入外貨建資産については、為替ヘッジを行わないため為替相場の変動による影響を受けます。
 (注3)当外国投資法人の組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図る場合があります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)
 (愛称:ファーストラップ(ちょうわ))

月次レポート

2022年
 05月31日現在

追加型投信/内外/資産複合

■投資する投資信託証券の組入比率および騰落率

資産クラス	投資信託証券	比率	騰落率		
			過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月
国内株式	TOPIXマザーファンド	2.6%	0.8%	2.6%	0.6%
	JPX日経400インデックスマザーファンド	0.4%	0.8%	2.8%	0.5%
	日本株インカム・マザーファンド	1.1%	0.6%	5.1%	10.0%
	日本株オープン「35」マザーファンド	0.1%	2.5%	4.8%	-8.2%
	日本・小型株・ファンド・マザーファンド	0.4%	-2.0%	-1.3%	-14.6%
	日本株式最小分散インデックスマザーファンド	0.6%	0.0%	2.7%	1.1%
	ジャパン・アクティブ・マザーファンド	0.3%	1.2%	5.2%	4.0%
	日本株ESGアクティブマザーファンド	0.5%	4.2%	8.9%	8.0%
	JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド	0.2%	1.0%	1.3%	-7.2%
	ジャパンESGセレクト・リーダーズインデックスマザーファンド(※2)	0.3%	0.7%	3.2%	0.3%
外国株式	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドクラスB・JPY・アキュムレーション	0.3%	-6.3%	-1.3%	-22.6%
	スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・サステナビリティ・ファンドクラスⅢ・JPY・アキュムレーション	0.2%	—	—	—
	外国株式インデックスマザーファンド(※1)	2.7%	-0.3%	5.6%	1.6%
	好配当海外株マザーファンド(※1)	0.6%	2.6%	12.9%	19.8%
	先進国株式最小分散インデックスマザーファンド(※1)	0.5%	-1.4%	11.5%	9.4%
	先進国株式クオリティ・インデックスマザーファンド(※1)	0.6%	-0.1%	4.8%	-4.5%
	先進国株式ESGインデックスマザーファンド(※1)	0.2%	—	—	—
	グローバル・フランチャイズ・ファンド M-2 (適格機関投資家専用)(※3)	0.8%	0.7%	7.0%	3.9%
	日本債券インデックスマザーファンド	8.8%	-0.2%	-0.7%	-2.1%
	三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド	9.1%	-0.2%	-0.7%	-2.2%
国内債券	日本超長期国債インデックスマザーファンド(※2)	4.5%	-0.4%	-1.7%	-4.8%
	先進国高格付国債マザーファンド	1.0%	-0.5%	-3.8%	-5.6%
	ショートデュレーション円インカムマザーファンド	11.0%	-0.1%	-0.6%	-1.3%
	MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド(※1)	2.2%	-1.4%	-6.4%	-10.7%
	ヘッジ付外国債券 フランス国債7-10年ラダーマザーファンド(※1)	0.9%	-1.7%	-6.2%	-10.6%
	ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド(※1)	0.7%	-2.4%	-6.5%	-11.1%
外国債券	マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり> (FOFs用) (適格機関投資家限定)(※4)	5.9%	0.1%	-6.7%	-13.1%
	外国債券インデックスマザーファンド(※1)	9.2%	-0.6%	2.9%	-0.1%
	新興国債券インデックスマザーファンド(※1)	0.6%	1.0%	1.3%	3.0%
	グローバル社債ファンドT(適格機関投資家専用)(※5)	5.2%	-0.9%	3.1%	-1.4%
	東証REIT指数マザーファンド	0.6%	1.8%	7.5%	2.1%
オルタナティブ	MUAM G-REITマザーファンド	0.5%	-7.6%	5.6%	4.6%
	コモディティ コモディティインデックスマザーファンド	0.5%	3.4%	32.5%	51.7%
	日本株マーケットニュートラル・マザーファンド	1.2%	0.5%	0.1%	-0.1%
	先進国ロング・ショート戦略マザーファンド	7.4%	-0.5%	-1.3%	-2.9%
	ヘッジファンド				
	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンドクラスB・円・アキュムレーション	7.3%	-1.6%	-2.9%	-9.0%
	MUIジャジメンタルL/S「バランス型」ファンド1 (適格機関投資家向け)(※6)	8.5%	-0.2%	-0.7%	-2.9%

・各期間の騰落率は「三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)」の運用期間に応じたものです。なお、騰落率は、各投資信託証券の評価対象日(当ファンドへの実質的な反映日)に基づいて算出したもので、通常の月次ベースの騰落率と異なる場合があります。

・国内債券には、為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図る「ヘッジ付外国債券」を含めています。

※1 アドバンス・バランス I (FOFs用) (適格機関投資家限定)を通じて組入を行います。

※2 アドバンス・バランス III (FOFs用) (適格機関投資家限定)を通じて組入を行います。

※3 グローバル・フランチャイズ・マザーファンド II に投資を行います。

※4 マッコーリー グローバル・インフラ債券マザーファンドに投資を行います。

※5 グローバル社債マザーファンドに投資を行います。

※6 MUIジャジメンタルL/S「バリュー」マザーファンド、MUIベータ戦略型シングル・アルファマザーファンド、MUIジャジメンタルL/S「インフラ資源」マザーファンド、MUIジャジメンタルL/S「金融」マザーファンド、MUIジャジメンタルL/S「テック」マザーファンド、MUIクオンツ・ベータヘッジ高配当利回り型マザーファンドに投資を行います。

* 5月31日現在、「マッコーリー グローバル・インフラ株式マザーファンド」および「新興国株式インデックスマザーファンド」への組入れはありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

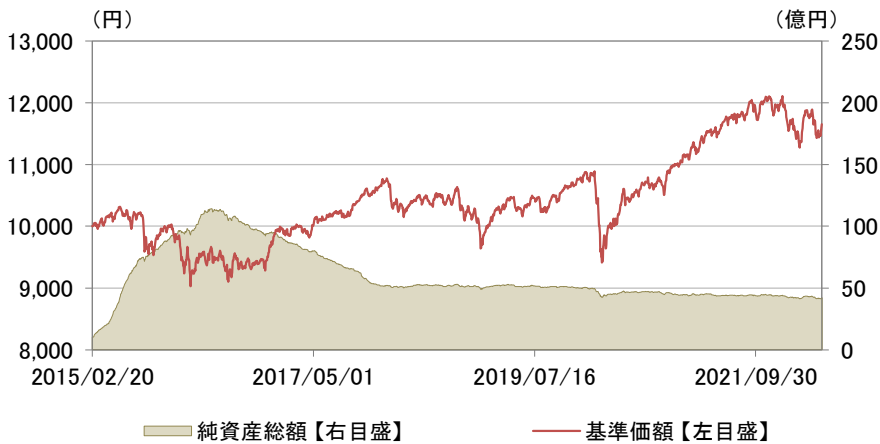
三菱UFJ アドバンス・バランス(安定成長型)
 〈愛称:ファーストラップ(ちょうわ)〉

月次レポート

2022年
 05月31日現在

追加型投信/内外/資産複合

■ 基準価額および純資産総額の推移



・基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
 ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。

■ 騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.4%	1.4%	-1.8%	0.2%	14.0%	16.5%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
 また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
 ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
 ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■ 資産クラス配分

資産	比率
国内株式	18.0%
外国株式	17.2%
国内債券	23.5%
外国債券	10.1%
オルタナティブ	29.2%
コールローン他	2.0%

・各資産クラス配分は、投資対象とする投資信託証券の純資産総額に対する割合です。
 ・国内債券には、為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図る「ヘッジ付外国債券」を含めています。
 ・各資産クラスに対応する投資信託証券については、4ページをご覧ください。

■ 基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	11,653円
前月末比	-43円
純資産総額	42.04億円

■ 分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第7期	2022/02/07	0円
第6期	2021/02/05	0円
第5期	2020/02/05	0円
第4期	2019/02/05	0円
第3期	2018/02/05	0円
第2期	2017/02/06	0円
設定来累計		0円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

■ 当月の基準価額の変動要因(概算)

	寄与度(円)
国内株式	17
外国株式	-7
国内債券	-8
外国債券	-7
オルタナティブ	-26
分配金	-
その他(信託報酬等)	-12
基準価額	-43

・基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・「その他」には信託報酬やファンドの設定解約に伴う影響等が含まれます。

■ 組入上位5通貨

通貨	比率
1 日本円	63.1%
2 米ドル	12.6%
3 ユーロ	5.6%
4 英ポンド	1.9%
5 豪ドル	0.8%
その他通貨	1.0%
※その他	15.1%

・為替予約等を含めた実質的な比率です。
 ・「※その他」は、グローバル・フランチャイズファンド M-2(適格機関投資家専用)(注1)、グローバル社債ファンドT(適格機関投資家専用)(注1)、ペイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドクラスB・JPY・アキュムレーション(注2)、ペイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンドクラスB・円・アキュムレーション(注3)およびスチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・サステナビリティ・ファンドクラスIII・JPY・アキュムレーション(注2)の比率を表しています。

(注1)当ファンドの組入外貨建資産については、為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

(注2)当外国投資法人の組入外貨建資産については、為替ヘッジを行わないため為替相場の変動による影響を受けます。

(注3)当外国投資法人の組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図る場合があります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定成長型)
 (愛称:ファーストラップ(ちょうわ))

月次レポート

2022年
 05月31日現在

追加型投信/内外/資産複合

■投資する投資信託証券の組入比率および騰落率

資産クラス	投資信託証券	比率	騰落率		
			過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月
国内株式	TOPIXマザーファンド	6.6%	0.8%	2.6%	0.6%
	JPX日経400インデックスマザーファンド	1.0%	0.8%	2.8%	0.5%
	日本株インカム・マザーファンド	2.8%	0.6%	5.1%	10.0%
	日本株オープン「35」マザーファンド	0.8%	2.5%	4.8%	-8.2%
	日本・小型株・ファンド・マザーファンド	1.2%	-2.0%	-1.3%	-14.6%
	日本株式最小分散インデックスマザーファンド	1.9%	0.0%	2.7%	1.1%
	ジャパン・アクティブ・マザーファンド	1.1%	1.2%	5.2%	4.0%
	日本株ESGアクティブマザーファンド	1.1%	4.2%	8.9%	8.0%
	JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド	0.7%	1.0%	1.3%	-7.2%
	ジャパンESGセレクト・リーダーズインデックスマザーファンド(※2)	0.7%	0.7%	3.2%	0.3%
外国株式	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスB・JPY・アキュムレーション	1.9%	-6.3%	-1.3%	-22.6%
	スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・サステナビリティ・ファンドークラスⅢ・JPY・アキュムレーション	0.5%	—	—	—
	外国株式インデックスマザーファンド(※1)	7.1%	-0.3%	5.6%	1.6%
	好配当海外株マザーファンド(※1)	1.9%	2.6%	12.9%	19.8%
	先進国株式最小分散インデックスマザーファンド(※1)	1.2%	-1.4%	11.5%	9.4%
	先進国株式クオリティ・インデックスマザーファンド(※1)	1.7%	-0.1%	4.8%	-4.5%
	先進国株式ESGインデックスマザーファンド(※1)	0.7%	—	—	—
	グローバル・フランチャイズ・ファンド M-2 (適格機関投資家専用)(※3)	2.2%	0.7%	7.0%	3.9%
	日本債券インデックスマザーファンド	4.7%	-0.2%	-0.7%	-2.1%
	三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド	4.8%	-0.2%	-0.7%	-2.2%
国内債券	日本超長期国債インデックスマザーファンド(※2)	2.4%	-0.4%	-1.7%	-4.8%
	先進国高格付国債マザーファンド	0.5%	-0.5%	-3.8%	-5.6%
	ショートデュレーション円インカムマザーファンド	5.9%	-0.1%	-0.6%	-1.3%
	MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド(※1)	1.2%	-1.4%	-6.4%	-10.7%
	ヘッジ付外国債券 フランス国債7-10年ラダーマザーファンド(※1)	0.5%	-1.7%	-6.2%	-10.6%
	ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド(※1)	0.5%	-2.4%	-6.5%	-11.1%
外国債券	マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり> (FOFs用) (適格機関投資家限定)(※4)	3.1%	0.1%	-6.7%	-13.1%
	外国債券インデックスマザーファンド(※1)	6.3%	-0.6%	2.9%	-0.1%
	新興国債券インデックスマザーファンド(※1)	0.3%	1.0%	1.3%	3.0%
	グローバル社債ファンドT(適格機関投資家専用)(※5)	3.5%	-0.9%	3.1%	-1.4%
REIT	東証REIT指数マザーファンド	1.9%	1.8%	7.5%	2.1%
	MUAM G-REITマザーファンド	2.0%	-7.6%	5.6%	4.6%
	コモディティ	1.2%	3.4%	32.5%	51.7%
オルタナティブ	日本株マーケットニュートラル・マザーファンド	1.2%	0.5%	0.1%	-0.1%
	先進国ロング・ショート戦略マザーファンド	7.4%	-0.5%	-1.3%	-2.9%
	ヘッジファンド	7.0%	-1.6%	-2.9%	-9.0%
	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバースファイド・リターン・円ファンドークラスB・円・アキュムレーション	7.0%	-1.6%	-2.9%	-9.0%
	MUIジャジメンタルL/S「バランス型」ファンド1 (適格機関投資家向け)(※6)	8.5%	-0.2%	-0.7%	-2.9%

・各期間の騰落率は「三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定成長型)」の運用期間に応じたものです。なお、騰落率は、各投資信託証券の評価対象日(当ファンドへの実質的な反映日)に基づいて算出したもので、通常の月次ベースの騰落率と異なる場合があります。
 ・国内債券には、為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図る「ヘッジ付外国債券」を含めています。

※1 アドバンスト・バランスⅡ(FOFs用)(適格機関投資家限定)を通じて組入を行います。
 ※2 アドバンスト・バランスⅣ(FOFs用)(適格機関投資家限定)を通じて組入を行います。
 ※3 グローバル・フランチャイズ・マザーファンドⅡに投資を行います。
 ※4 マッコーリー グローバル・インフラ債券マザーファンドに投資を行います。
 ※5 グローバル社債マザーファンドに投資を行います。
 ※6 MUIジャジメンタルL/S「バリュー」マザーファンド、MUIベータ戦略型シングル・アルファマザーファンド、MUIジャジメンタルL/S「インフラ資源」マザーファンド、MUIジャジメンタルL/S「金融」マザーファンド、MUIジャジメンタルL/S「テック」マザーファンド、MUIクオンツ・ベータヘッジ高配当利回り型マザーファンドに投資を行います。
 * 5月31日現在、「マッコーリー グローバル・インフラ株式マザーファンド」および「新興国株式インデックスマザーファンド」への組入れはありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)
 〈愛称:ファーストラップ(ちょうわ)〉

月次レポート

2022年
05月31日現在

追加型投信/内外/資産複合

【ご参考】『三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)』が投資する投資信託証券の状況

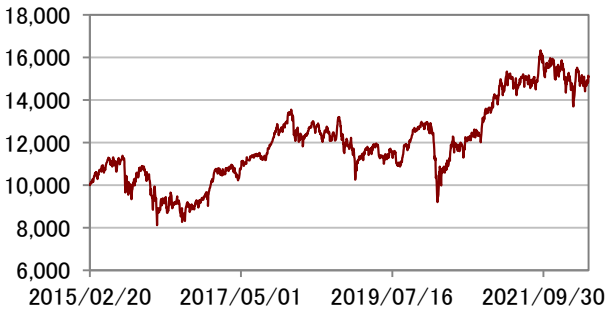
資産クラス【国内株式】

安定型				安定成長型			
資産クラス	投資信託証券	資産内比率	全体比率	資産クラス	投資信託証券	資産内比率	全体比率
国内株式	TOPIXマザーファンド	38.9%	2.6%	国内株式	TOPIXマザーファンド	36.8%	6.6%
	JPX日経400インデックスマザーファンド	6.3%	0.4%		JPX日経400インデックスマザーファンド	5.8%	1.0%
	日本株インカム・マザーファンド	16.7%	1.1%		日本株インカム・マザーファンド	15.6%	2.8%
	日本株オープン「35」マザーファンド	2.1%	0.1%		日本株オープン「35」マザーファンド	4.5%	0.8%
	日本・小型株・ファンド・マザーファンド	6.4%	0.4%		日本・小型株・ファンド・マザーファンド	6.4%	1.2%
	日本株式最小分散インデックスマザーファンド	9.3%	0.6%		日本株式最小分散インデックスマザーファンド	10.8%	1.9%
	ジャパン・アクティブ・マザーファンド	5.3%	0.3%		ジャパン・アクティブ・マザーファンド	6.0%	1.1%
	日本株ESGアクティブマザーファンド	6.9%	0.5%		日本株ESGアクティブマザーファンド	6.0%	1.1%
	JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド	3.8%	0.2%		JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド	3.9%	0.7%
	ジャパンESGセレクト・リーダーズインデックスマザーファンド	4.4%	0.3%		ジャパンESGセレクト・リーダーズインデックスマザーファンド	4.1%	0.7%
	合計	100.0%	6.6%		合計	100.0%	18.0%

※全体比率とは、三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)の純資産総額に対する実質組入比率です。

TOPIXマザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2015年2月20日を10,000として指数化しています。

■騰落率

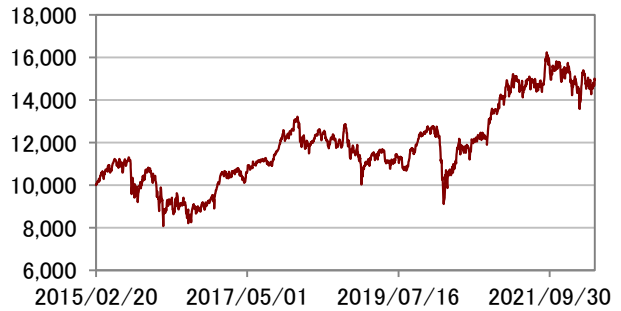
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	0.8%	2.6%	0.6%	1.8%	35.8%

【ファンドの特色】

・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)と連動する投資成果をめざして運用を行います。

JPX日経400インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2015年2月20日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	0.8%	2.8%	0.5%	1.5%	37.5%

【ファンドの特色】

・JPX日経インデックス400(配当込み)に連動する投資成果をめざして運用を行います。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)
 〈愛称:ファーストラップ(ちょうわ)〉

月次レポート

2022年
 05月31日現在

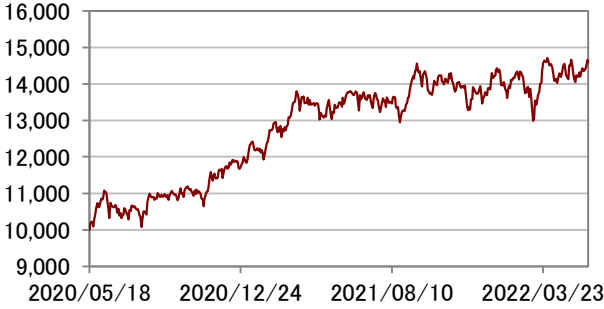
追加型投信/内外/資産複合

【ご参考】『三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)』が投資する投資信託証券の状況

資産クラス【国内株式】

日本株インカム・マザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2020年5月18日を10,000として指数化しています。

■騰落率

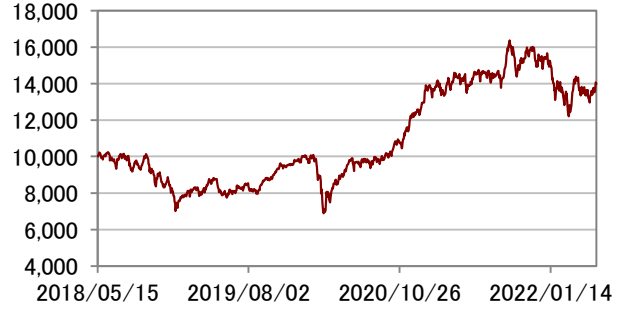
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	0.6%	5.1%	10.0%	8.6%	—

【ファンドの特色】

・主としてTOPIX構成銘柄の中から、予想配当利回りが市場平均と比較して高いと判断される銘柄に投資し、高水準の配当収入と中長期的な株価上がり益の獲得をめざして運用を行います。なお、TOPIX構成銘柄以外の上場株式等に投資する場合があります。

日本株オープン「35」マザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2018年5月15日を10,000として指数化しています。

■騰落率

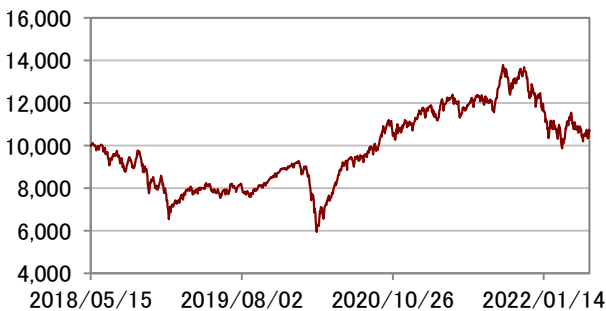
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	2.5%	4.8%	-8.2%	-1.6%	78.2%

【ファンドの特色】

・主として、委託者が厳選した「35銘柄」に投資します。投資対象を「35銘柄」に絞ることで、銘柄のフォローを徹底し、集中投資効果を図ります。東証株価指数(TOPIX)をベンチマークとし、これを上回る投資成果をめざします。

日本・小型株・ファンド・マザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2018年5月15日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	-2.0%	-1.3%	-14.6%	-8.7%	38.1%

【ファンドの特色】

・主としてわが国の小型株式の中から、ボトムアップアプローチにより成長性が高いと判断される銘柄を厳選して投資することを基本とします。
 ※小型株式の分類は「RUSSELL/NOMURA 日本株インデックス」の分類に準ずるものとします。RUSSELL/NOMURA Small Capインデックスをベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。

日本株式最小分散インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2019年5月16日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	0.0%	2.7%	1.1%	2.9%	14.5%

【ファンドの特色】

・MSCI日本株最小分散指数(配当込み)に連動する投資成果をめざして運用を行います。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)
 〈愛称:ファーストラップ(ちょうわ)〉

月次レポート

2022年
 05月31日現在

追加型投信/内外/資産複合

【ご参考】『三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)』が投資する投資信託証券の状況

資産クラス【国内株式】

ジャパン・アクティブ・マザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2019年5月16日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	1.2%	5.2%	4.0%	6.5%	49.4%

【ファンドの特色】

・日本の株式の中から、「資産・利益等と比較して株価が割安と判断され、かつ、優れたマネジメント力で継続的な利益成長や企業再生・復活が期待できる銘柄」を厳選し投資し、ベンチマークとする東証株価指数(TOPIX)を中長期的に上回る投資成果をめざして運用を行います。

日本株ESGアクティブマザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2021年5月17日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	4.2%	8.9%	8.0%	11.2%	—

【ファンドの特色】

・主としてわが国の株式に投資を行います。株式への投資にあたっては、ESGの取り組みの改善が見込まれる企業の中から企業収益の成長性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。

JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2016年5月11日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	1.0%	1.3%	-7.2%	-1.4%	38.5%

【ファンドの特色】

・iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス(配当込み)に連動する投資成果をめざして運用を行います。

ジャパンESGセレクト・リーダーズインデックスマザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2021年5月17日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	0.7%	3.2%	0.3%	3.6%	—

【ファンドの特色】

・MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数(配当込み)に連動する投資成果をめざして運用を行います。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定型)(安定成長型)
 〈愛称:ファーストラップ(ちょうわ)〉

月次レポート

2022年
 05月31日現在

追加型投信/内外/資産複合

【ご参考】『三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定型)(安定成長型)』が投資する投資信託証券の状況

資産クラス【外国株式】

安定型		資産内比率	全体比率
資産クラス	投資信託証券		
	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスB・JPY・アキュムレーション	5.9%	0.3%
	スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・サステナビリティ・ファンドークラスⅢ・JPY・アキュムレーション	2.9%	0.2%
外国株式	外国株式インデックスマザーファンド	45.6%	2.7%
	好配当海外株マザーファンド	10.0%	0.6%
	先進国株式最小分散インデックスマザーファンド	7.7%	0.5%
	先進国株式クオリティ・インデックスマザーファンド	9.7%	0.6%
	先進国株式ESGインデックスマザーファンド	3.9%	0.2%
	グローバル・フランチャイズ・ファンド M-2 (適格機関投資家専用)	14.3%	0.8%
	合計	100.0%	5.9%

安定成長型		資産内比率	全体比率
資産クラス	投資信託証券		
	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスB・JPY・アキュムレーション	11.2%	1.9%
	スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・サステナビリティ・ファンドークラスⅢ・JPY・アキュムレーション	3.0%	0.5%
外国株式	外国株式インデックスマザーファンド	41.3%	7.1%
	好配当海外株マザーファンド	11.2%	1.9%
	先進国株式最小分散インデックスマザーファンド	6.9%	1.2%
	先進国株式クオリティ・インデックスマザーファンド	9.7%	1.7%
	先進国株式ESGインデックスマザーファンド	4.0%	0.7%
	グローバル・フランチャイズ・ファンド M-2 (適格機関投資家専用)	12.6%	2.2%
	合計	100.0%	17.2%

※全体比率とは、三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定型)(安定成長型)の純資産総額に対する実質組入比率です。

ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスB・JPY・アキュムレーション

■基準価額の推移



・基準価額は、2021年5月13日を10,000として指数化しています。

■騰落率

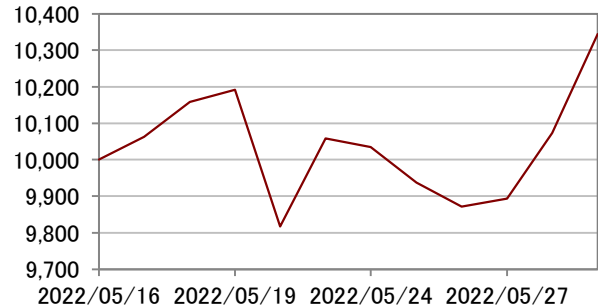
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	-6.3%	-1.3%	-22.6%	-13.7%	-

【ファンドの特色】

・日本を含む世界各国(新興国を含みます。)の株式等(DR(預託証券)を含みます。以下同じ。)のうち、持続可能であらゆる人々を受容する世界の実現に向け、好ましい社会的インパクトをもたらす製品、サービスの提供や、かかる事業活動を公正かつ誠実に実施する企業の株式等への投資を行い、長期的な信託財産の成長をめざします。

スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・サステナビリティ・ファンドークラスⅢ・JPY・アキュムレーション

■基準価額の推移



・基準価額は、2022年5月16日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	-	-	-	-	-

【ファンドの特色】

・新興国市場に設立・上場されている企業、および先進国市場に設立・上場されている企業であってもその事業等の過半を新興国市場に占める企業の株式等に投資を行います。サステナブルな社会への進展から恩恵を享受する、もしくはそれに寄与する事業を営むクオリティの高い企業へボトムアップで投資し、受託資産の保全と長期的な成長をめざします。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)
 〈愛称:ファーストラップ(ちょうわ)〉

月次レポート

2022年
 05月31日現在

追加型投信/内外/資産複合

【ご参考】『三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)』が投資する投資信託証券の状況

資産クラス【外国株式】

外国株式インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	-0.3%	5.6%	1.6%	13.0%	71.1%

【ファンドの特色】

・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)と連動する投資成果をめざして運用を行います。

好配当海外株マザーファンド

■基準価額の推移



■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	2.6%	12.9%	19.8%	19.3%	55.6%

【ファンドの特色】

・わが国を除く世界主要国の株式等の中から、配当利回りが高い銘柄および配当成長性が高いと判断される銘柄に投資し、高水準の配当収入と中長期的な株価値上がり利益の獲得をめざして運用を行います。

先進国株式最小分散インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	-1.4%	11.5%	9.4%	17.5%	48.3%

【ファンドの特色】

・MSCIコクサイ最小分散指数(JPY)(配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果をめざして運用を行います。

先進国株式クオリティ・インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	-0.1%	4.8%	-4.5%	13.0%	77.1%

【ファンドの特色】

・MSCIコクサイ・クオリティ指数(配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果をめざして運用を行います。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)
 〈愛称:ファーストラップ(ちょうわ)〉

月次レポート

2022年
 05月31日現在

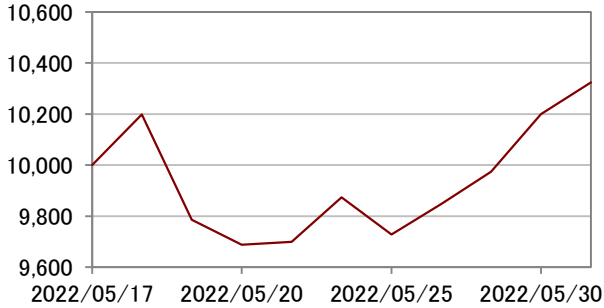
追加型投信/内外/資産複合

【ご参考】『三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)』が投資する投資信託証券の状況

資産クラス【外国株式】

先進国株式ESGインデックスマザーファンド

■基準価額の推移



2022/05/17 2022/05/20 2022/05/25 2022/05/30

・基準価額は、2022年5月17日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	-	-	-	-	-

【ファンドの特色】
 ・MSCIコクサイESGリーダーズ指数(配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果をめざして運用を行います。

新興国株式インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



2020/05/18 2020/12/24 2021/08/10 2022/03/23

・基準価額は、2020年5月18日を10,000として指数化しています。

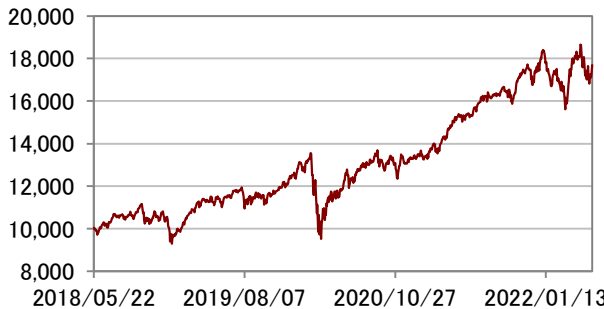
■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	1.5%	1.5%	-0.8%	-6.7%	-

【ファンドの特色】
 ・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果をめざして運用を行います。

グローバル・フランチャイズ・ファンド M-2(適格機関投資家専用)

■基準価額(分配金再投資)の推移



2018/05/22 2019/08/07 2020/10/27 2022/01/13

・基準価額は、2018年5月22日を10,000として指数化しています。

■騰落率(分配金再投資)

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	0.7%	7.0%	3.9%	14.8%	57.6%

【ファンドの特色】
 ・主として日本を含む世界各国の株式(預託証券を含みます。)に投資を行います。MSCIワールド・インデックス(円換算ベース)をベンチマークとします。ただし、ベンチマークからの乖離を低減することには重点を置きません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)
 〈愛称:ファーストラップ(ちょうわ)〉

月次レポート

2022年
 05月31日現在

追加型投信/内外/資産複合

【ご参考】『三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)』が投資する投資信託証券の状況

資産クラス【国内債券】

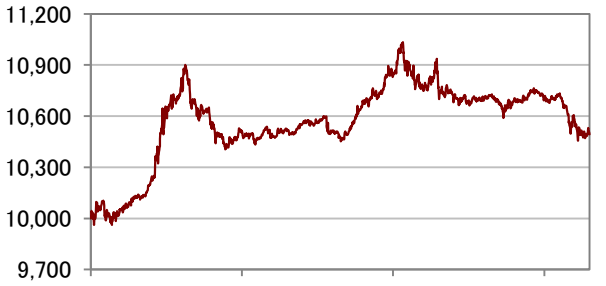
安定型			
資産クラス	投資信託証券	資産内比率	全体比率
国内債券	日本債券インデックスマザーファンド	20.0%	8.8%
	三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド	20.6%	9.1%
	日本超長期国債インデックスマザーファンド	10.2%	4.5%
	先進国高格付国債マザーファンド	2.3%	1.0%
	ショートデュレーション円インカムマザーファンド	25.1%	11.0%
	MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド	5.0%	2.2%
	フランス国債7-10年ラダーマザーファンド	2.0%	0.9%
	ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド	1.5%	0.7%
	マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド <為替ヘッジあり>(FOFs用) (適格機関投資家限定)	13.4%	5.9%
	合計		100.0%

安定成長型			
資産クラス	投資信託証券	資産内比率	全体比率
国内債券	日本債券インデックスマザーファンド	20.1%	4.7%
	三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド	20.5%	4.8%
	日本超長期国債インデックスマザーファンド	10.2%	2.4%
	先進国高格付国債マザーファンド	2.0%	0.5%
	ショートデュレーション円インカムマザーファンド	25.0%	5.9%
	MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド	5.1%	1.2%
	フランス国債7-10年ラダーマザーファンド	2.0%	0.5%
	ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド	1.9%	0.5%
	マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド <為替ヘッジあり>(FOFs用) (適格機関投資家限定)	13.1%	3.1%
	合計		100.0%

※全体比率とは、三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)の純資産総額に対する実質組入比率です。

日本債券インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2015年2月20日を10,000として指数化しています。

■騰落率

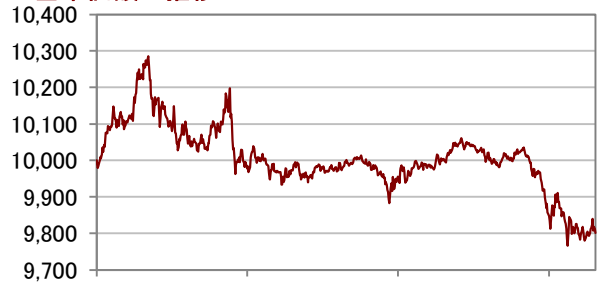
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	-0.2%	-0.7%	-2.1%	-1.8%	-2.8%

【ファンドの特色】

・NOMURA-BPI総合と連動する投資成果をめざして運用を行います。

三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2019年5月16日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	-0.2%	-0.7%	-2.2%	-1.8%	-2.4%

【ファンドの特色】

・日本の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークとするNOMURA-BPI総合を中長期的に上回ることを目標に運用を行います。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)
 〈愛称:ファーストラップ(ちょうわ)〉

月次レポート

2022年
 05月31日現在

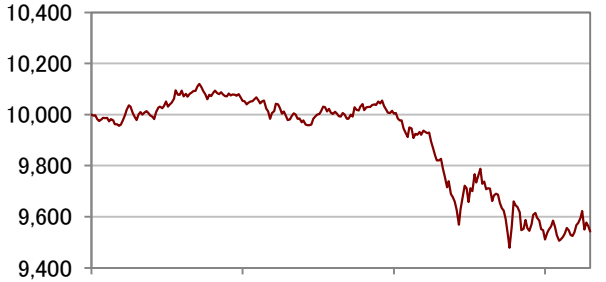
追加型投信/内外/資産複合

【ご参考】『三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)』が投資する投資信託証券の状況

資産クラス【国内債券】

日本超長期国債インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



2021/05/17 2021/09/06 2021/12/28 2022/04/22
 ・基準価額は、2021年5月17日を10,000として指数化しています。

■騰落率

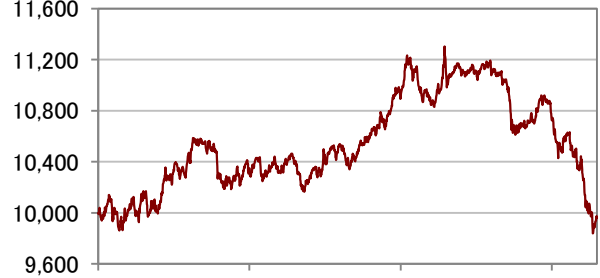
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	-0.4%	-1.7%	-4.8%	-4.4%	-

【ファンドの特色】

・NOMURA-BPI国債 超長期(11-)に連動する投資成果をめざして運用を行います。

先進国高格付国債マザーファンド

■基準価額の推移



2015/02/20 2017/05/01 2019/07/16 2021/09/30
 ・基準価額は、2015年2月20日を10,000として指数化しています。

■騰落率

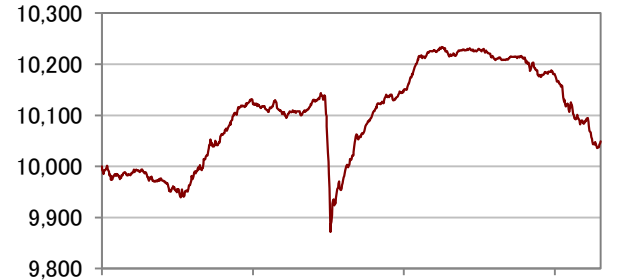
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	-0.5%	-3.8%	-5.6%	-7.0%	-8.1%

【ファンドの特色】

・日本を含む先進国の国債等に投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。投資する国債等(日本国債を除きます。)は、原則として取得時において最上位格付を取得しているものに限ります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。

ショートデュレーション円インカムマザーファンド

■基準価額の推移



2018/05/15 2019/08/02 2020/10/26 2022/01/14
 ・基準価額は、2018年5月15日を10,000として指数化しています。

■騰落率

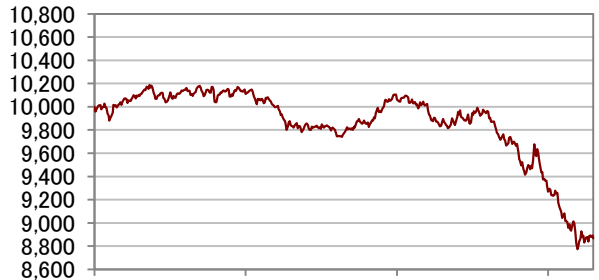
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	-0.1%	-0.6%	-1.3%	-1.7%	-0.3%

【ファンドの特色】

・主として日本を含む先進国の債券等に投資を行います。

MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド

■基準価額の推移



2020/05/18 2020/12/24 2021/08/10 2022/03/23
 ・基準価額は、2020年5月18日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	-1.4%	-6.4%	-10.7%	-9.6%	-

【ファンドの特色】

・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)をベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)
 〈愛称:ファーストラップ(ちょうわ)〉

月次レポート

2022年
 05月31日現在

追加型投信/内外/資産複合

【ご参考】『三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)』が投資する投資信託証券の状況

資産クラス【国内債券】

フランス国債7-10年ラダーマザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2019年5月16日を10,000として指数化しています。

■騰落率

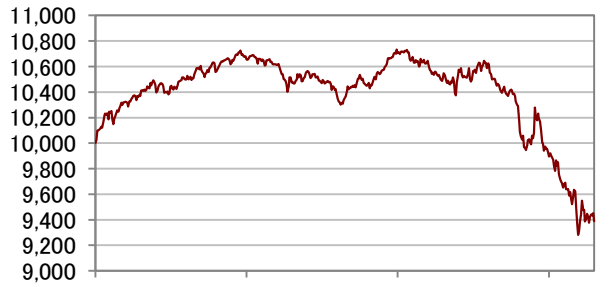
	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年
ファンド	-1.7%	-6.2%	-10.6%	-9.4%	-7.7%

【ファンドの特色】

・原則として、残存期間が7年程度から10年程度までのフランス国債に投資し、各残存期間ごとの投資金額が同額程度になるような運用をめざします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。

ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2020年5月18日を10,000として指数化しています。

■騰落率

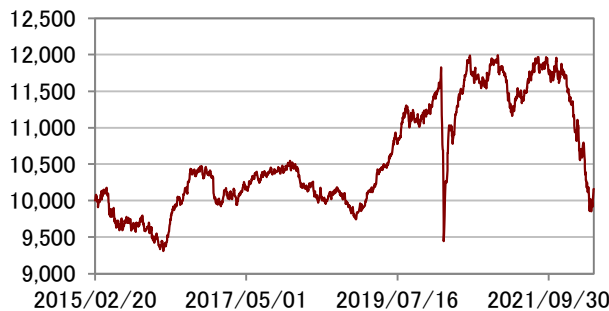
	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年
ファンド	-2.4%	-6.5%	-11.1%	-10.0%	-

【ファンドの特色】

・原則として、残存期間が7年程度から10年程度までのスペイン国債に投資し、各残存期間ごとの投資金額が同額程度になるような運用をめざします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。

マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド
 〈為替ヘッジあり〉(FOFs用)(適格機関投資家限定)

■基準価額(分配金再投資)の推移



・基準価額は、2015年2月20日を10,000として指数化しています。

■騰落率(分配金再投資)

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年
ファンド	0.1%	-6.7%	-13.1%	-11.6%	-3.6%

【ファンドの特色】

・主としてマッコーリー グローバル・インフラ債券マザーファンドを通じて、世界のインフラ関連企業が発行する米ドル建て債券を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。なお、インフラ関連企業とは、公益、通信、エネルギーおよび運輸等の日常生活に必要な不可欠なサービスを提供する企業をいいます。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)
 (愛称:ファーストラップ(ちょうわ))

月次レポート

2022年
 05月31日現在

追加型投信/内外/資産複合

【ご参考】『三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)』が投資する投資信託証券の状況

資産クラス【外国債券】

安定型			
資産クラス	投資信託証券	資産内比率	全体比率
外国債券	外国債券インデックスマザーファンド	61.0%	9.2%
	新興国債券インデックスマザーファンド	4.1%	0.6%
	グローバル社債ファンドT(適格機関投資家専用)	34.9%	5.2%
	合計	100.0%	15.0%

安定成長型			
資産クラス	投資信託証券	資産内比率	全体比率
外国債券	外国債券インデックスマザーファンド	62.3%	6.3%
	新興国債券インデックスマザーファンド	3.5%	0.3%
	グローバル社債ファンドT(適格機関投資家専用)	34.3%	3.5%
	合計	100.0%	10.1%

※全体比率とは、三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)の純資産総額に対する実質組入比率です。

外国債券インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2015年2月20日を10,000として指数化しています。

■騰落率

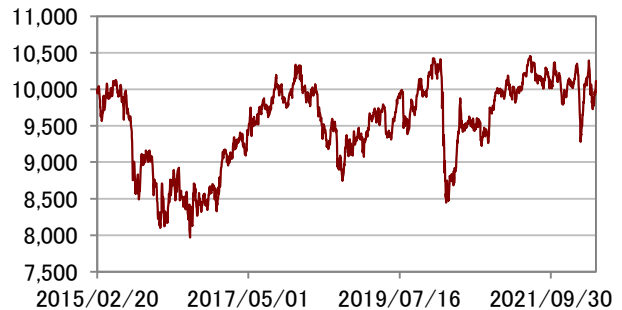
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	-0.6%	2.9%	-0.1%	0.7%	13.1%

【ファンドの特色】

・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)と連動する投資成果をめざして運用を行います。

新興国債券インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2015年2月20日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	1.0%	1.3%	3.0%	-2.1%	8.3%

【ファンドの特色】

・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円換算ベース)に連動する投資成果をめざして運用を行います。

グローバル社債ファンド T(適格機関投資家専用)

■基準価額の推移



・基準価額は、2017年5月17日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	-0.9%	3.1%	-1.4%	0.6%	18.3%

【ファンドの特色】

・グローバル社債マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の社債に分散投資を行うことにより、安定した収益の確保および投資信託財産の長期的な成長を図ることをめざします。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)
 〈愛称:ファーストラップ(ちょうわ)〉

月次レポート

2022年
 05月31日現在

追加型投信/内外/資産複合

【ご参考】『三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)』が投資する投資信託証券の状況

資産クラス【オルタナティブ】

安定型					安定成長型					
資産クラス	投資信託証券	資産内比率	全体比率		資産クラス	投資信託証券	資産内比率	全体比率		
オルタナティブ	東証REIT指数マザーファンド	2.3%	0.6%		オルタナティブ	東証REIT指数マザーファンド	6.6%	1.9%		
	MUAM G-REITマザーファンド	2.0%	0.5%			MUAM G-REITマザーファンド	6.7%	2.0%		
	コモディティインデックスマザーファンド	2.0%	0.5%			コモディティインデックスマザーファンド	4.0%	1.2%		
	日本株マーケットニュートラル・マザーファンド	4.7%	1.2%			日本株マーケットニュートラル・マザーファンド	4.3%	1.2%		
	先進国ロング・ショート戦略マザーファンド	28.3%	7.4%			先進国ロング・ショート戦略マザーファンド	25.3%	7.4%		
	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンドークラスB・円・アキュムレーション	28.0%	7.3%			ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンドークラスB・円・アキュムレーション	24.0%	7.0%		
	MUIジャジメンタルL/S「バランス型」ファンド1(適格機関投資家向け)	32.6%	8.5%			MUIジャジメンタルL/S「バランス型」ファンド1(適格機関投資家向け)	29.2%	8.5%		
	合計		100.0%	26.0%		合計		100.0%	29.2%	

※全体比率とは、三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)の純資産総額に対する実質組入比率です。

東証REIT指数マザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2015年2月20日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	1.8%	7.5%	2.1%	0.3%	17.2%

【ファンドの特色】

・東証REIT指数(配当込み)と連動する投資成果をめざして運用を行います。

MUAM G-REITマザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2015年2月20日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	-7.6%	5.6%	4.6%	19.3%	38.8%

【ファンドの特色】

・S&P先進国REITインデックス(除く日本、配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果をめざして、運用を行います。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)
 〈愛称:ファーストラップ(ちょうわ)〉

月次レポート

2022年
 05月31日現在

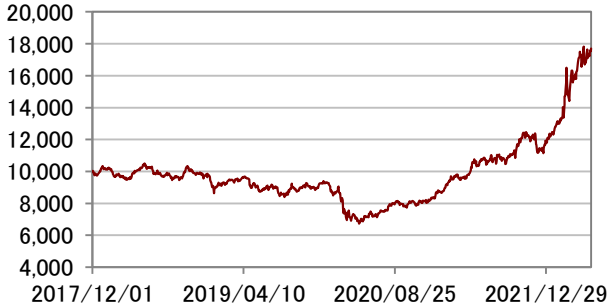
追加型投信/内外/資産複合

【ご参考】『三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)』が投資する投資信託証券の状況

資産クラス【オルタナティブ】

コモディティインデックスマザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2017年12月1日を10,000として指数化しています。

■騰落率

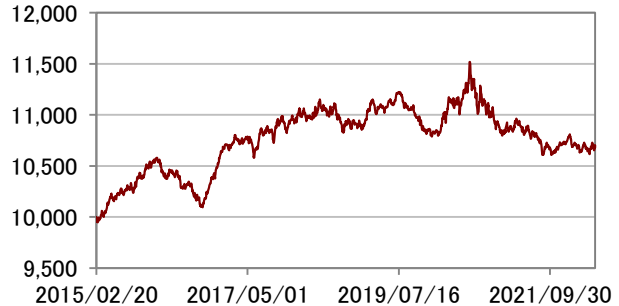
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	3.4%	32.5%	51.7%	66.6%	95.0%

【ファンドの特色】

・ブルームバーグ商品指数トータルリターン(円換算ベース)に概ね連動する投資成果をめざして、運用を行います。

日本株マーケットニュートラル・マザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2015年2月20日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	0.5%	0.1%	-0.1%	-1.6%	-4.0%

【ファンドの特色】

・わが国の株式を主要投資対象とします。
 ・割安度、成長性といった投資尺度の中から、計量モデルを用いて決定された最適な投資尺度により株式への投資を行います。同時に株式の信用取引等を活用することにより株式市場の価格変動リスクの低減を図りつつ、安定した収益の確保をめざして運用を行います。
 ・無担保コール翌日物レートをベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。

先進国ロング・ショート戦略マザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額は、2020年5月18日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	-0.5%	-1.3%	-2.9%	-4.4%	-

【ファンドの特色】

・主として日本国債に投資を行うとともに、先進国の債券先物取引、株価指数先物取引を活用することにより、先進国の債券、株式に実質的な投資を行います。また、外国為替予約取引を積極的に活用し通貨に実質的な投資も行います。先物取引および外国為替予約取引の活用にあたっては、これらの取引に係る価格変動要因に着目する定量的手法とリスク水準に基づく最適化手法を組み合わせて、買建ておよび売建てを行う債券戦略、株式戦略および通貨戦略を採用します。

ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンドークラスB・円・アキュムレーション

■基準価額の推移



・基準価額は、2017年5月16日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	-1.6%	-2.9%	-9.0%	-5.2%	6.8%

【ファンドの特色】

・世界の株式、債券、適格集団投資スキーム、その他譲渡性証券、短期金融商品、現金同等物およびデリバティブ等の幅広い資産への投資を通じて、株式市場より低いリスクで長期的な値上がり益の獲得をめざします。また、株式、債券以外に、不動産、インフラ、コモディティおよび通貨等への間接的な投資を行う場合があります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)
 〈愛称:ファーストラップ(ちょうわ)〉

月次レポート

2022年
 05月31日現在

追加型投信/内外/資産複合

【ご参考】『三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)』が投資する投資信託証券の状況

資産クラス【オルタナティブ】

MUIジャジメンタルL/S「バランス型」ファンド1
 (適格機関投資家向け)

■基準価額(分配金再投資)の推移



・基準価額は、2017年5月16日を10,000として指数化しています。

■騰落率(分配金再投資)

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年
ファンド	-0.2%	-0.7%	-2.9%	-2.4%	2.7%

【ファンドの特色】

・MUIジャジメンタルL/S「バリュー」マザーファンド、MUIベータ戦略型シングル・アルファマザーファンド、MUIジャジメンタルL/S「インフラ資源」マザーファンド、MUIジャジメンタルL/S「金融」マザーファンド、MUIジャジメンタルL/S「テック」マザーファンド、MUIクオンツ・ベータヘッジ高配当利回り型マザーファンドの受益証券を主要投資対象として、実質的にわが国の金融商品取引所上場株式(上場予定を含みます。)に投資します。なお、株式等に直接投資する場合があります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型) (安定成長型)

(愛称:ファーストラップ(ちょうわ))

追加型投信/内外/資産複合

月次レポート

2022年
05月31日現在

■本資料で使用している指数について

- ・東証株価指数(TOPIX)、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。
- ・JPX日経インデックス400(配当込み)とは、東京証券取引所のプライム市場、スタンダード市場、グロース市場を主市場とする普通株式等のうち、時価総額、売買代金、ROE等を基に、株式会社JPX総研及び株式会社日本経済新聞社が選定した、原則400銘柄で構成される株価指数です。「JPX日経インデックス400(配当込み)(JPX日経インデックス400といひます。)」は、株式会社JPX総研(以下「JPX総研」といひます。)及び株式会社日本経済新聞社(以下「日経」といひます。)によって独自に開発された手法によって、算出される著作物であり、JPX総研及び日経は、「JPX日経インデックス400」自体及び「JPX日経インデックス400」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。「JPX日経インデックス400」を示す標準に関する商標権その他の知的財産権は、全てJPX総研、株式会社日本取引所グループ及び日経に帰属しています。ファンドは、委託会社の責任のもとで運用されるものであり、JPX総研及び日経は、その運用及びファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。JPX総研及び日経は、「JPX日経インデックス400」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延又は中断に関して、責任を負いません。JPX総研及び日経は、「JPX日経インデックス400」の構成銘柄、計算方法、その他「JPX日経インデックス400」の内容を変える権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・Russell/Nomura Small Cap インデックスとは、Russell/Nomura 日本株インデックスを構成するインデックスの一つです。Russell/Nomura Small Cap インデックスは、わが国の全金融商品取引所全上場銘柄の全時価総額(時価総額は全て安定持株控除後)の98%超をカバーするRussell/Nomura Total Market インデックスのうち、時価総額下位約15%の銘柄により構成されています。Russell/Nomura 日本株インデックスは、Frank Russell Companyと野村證券株式会社が作成している株価指数で、当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は両社に帰属します。なお、両社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- ・iSTOXX MUTB JAPAN コアリティ150インデックス(配当込み)(以下「対象インデックス」といひます)とは、東京証券取引所を主たる市場とする普通株式等の中から時価総額、流動性によりスクリーニングされる投資ユニバースのうち、高ROEかつ、①財務健全性、②キャッシュフロー収益性、③利益安定性の3点に着目し、高ROEの継続性を評価して150銘柄を選定し算出される株価指数です。iSTOXX MUTB JAPAN コアリティ150インデックス(配当込み)は、三菱UFJ信託銀行が有するアクティブ運用機関としてのノウハウとSTOXXリミテッド(以下「STOXX社」)が有する指数提供機関としての経験を活用し、両社で共同開発したものです。2001年6月18日の時価総額を100として、STOXX社が算出・公表しています。STOXX社は、対象インデックス及びそれに含まれるデータの発行元です。STOXX社は、報告された情報の作成に何ら関与するものではなく、かつ報告された情報、又は対象インデックス若しくはそのデータに関するエラー、遺漏若しくは中断について、何ら保証するものではなく、(過失の有無を問わず)いかなる責任を負うものではありません。これらについては、正確性、妥当性、正当性、完全性、適時性及び目的への適合性を含みますが、これらに限定されません。STOXX社に關係する情報の流布又は再配信は、一切禁止されています。
- ・MSCI日本株最小分散指数(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、J-REITを除いた日本株式を対象に、ボラティリティ(価格変動率)が最も小さくなるように各銘柄の構成比率を決定し算出した指数です。MSCI日本株最小分散指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- ・MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、業種内において相対的にESG(環境、社会、ガバナンス)評価が優れた企業で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- ・MSCIコクサイ・コアリティ指数(配当込み、円換算ベース)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国を対象に、ROEの高さ、利益成長の安定性、財務の健全性等に着目して選定した銘柄で構成されています。また、MSCIコクサイ・コアリティ指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- ・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- ・MSCIコクサイ最小分散指数(JPY)(配当込み、円換算ベース)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国を対象に、ボラティリティ(価格変動率)が最も小さくなるように各銘柄の構成比率を決定し算出した指数です。また、MSCIコクサイ最小分散指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- ・MSCIコクサイESGリーダーズ指数(配当込み、円換算ベース)とは、MSCI Inc.が開発したMSCIコクサイESGリーダーズ指数(米ドルベース)をもとに委託会社が計算したものです。MSCIコクサイESGリーダーズ指数(米ドルベース)は、MSCIリサーチが提供する企業格付けと調査を利用し、日本を除く先進国の株式から、業種内において相対的にESG(環境、社会、ガバナンス)評価が優れた企業で構成されています。MSCIコクサイESGリーダーズ指数(米ドルベース)に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- ・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- ・MSCI ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。MSCIワールド・インデックス(円換算ベース)は、MSCI ワールド インデックスをもとに、委託会社が計算したものです。MSCI ワールド インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- ・NOMURA—BPI総合とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- ・NOMURA—BPI国債 超長期(11-)とは、野村證券株式会社が発表している日本国が発行した固定利付債(個人向けは対象外)の残存期間11年以上の債券のパフォーマンスインデックスで、NOMURA—BPI国債のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- ・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)、FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)とは、FTSE E世界国債インデックス(除く日本)をもとに、委託会社が計算したものです。
- ・JPモルガンGBI—EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング市場のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。JPモルガンGBI—EMグローバル・ダイバーシファイド(円換算ベース)とは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表しているJPモルガンGBI—EMグローバル・ダイバーシファイド(ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。当該指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。
- ・ブルームバーグ・グローバル総合社債インデックス(円ベース)とは、ブルームバーグが算出する世界の投資適格社債の値動きを表す指数です。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー・ビーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)のサービスマークであり、三菱UFJ国際投信による一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグの指数はブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグは、三菱UFJ国際投信の関係会社ではなく、ブルームバーグは、三菱UFJ国際投信が運用するファンドを承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグは、ブルームバーグの指数に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性を保証するものではありません。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)

〈愛称:ファーストラップ(ちょうわ)〉

月次レポート

 2022年
05月31日現在

追加型投信／内外／資産複合

■本資料で使用している指数について

- ・東証REIT指数(配当込み)とは、東京証券取引所に上場している不動産投資信託全銘柄を対象として算出した東証REIT指数に、分配金支払いによる権利落ちの修正を加えた指数です。東証REIT指数の指数値及び東証REIT指数に係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証REIT指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証REIT指数に係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。
 - ・S&P先進国REITインデックスとは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが有するS&Pグローバル株価指数の採用銘柄の中から、不動産投資信託(REIT)及び同様の制度に基づく銘柄の浮動株修正時価総額に基づいて算出される指数です。S&P先進国REITインデックス(除く日本、配当込み、円換算ベース)は、S&P先進国REITインデックス(除く日本、配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。S&P先進国REITインデックスはS&P Dow Jones Indices LLC(「SPDJ」)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®はStandard & Poor's Financial Services LLC(「S&P」)の登録商標で、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC(「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJ、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P先進国REITインデックスの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。
 - ・ブルームバーク商品指数(Bloomberg Commodity IndexSM)とは、ブルームバーク社が公表する、世界の商品(コモディティ)市況の総合的な動きを表すインデックスです。「ブルームバーク商品指数(Bloomberg Commodity IndexSM)」および「ブルームバーク(Bloomberg®)」は、ブルームバーク・ファイナンス・エル・ピー(Bloomberg Finance L.P.)およびその関係会社(以下「ブルームバーク」と総称します。)のサービスマークであり、委託会社による一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーク商品指数(Bloomberg Commodity IndexSM)は、ブルームバークとUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー(UBS Securities LLC)の間の契約に従ってブルームバークが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーク、ならびにUBSセキュリティーズ・エル・エル・シーおよびその関係会社(以下「UBS」と総称します。)のいずれも、委託会社の関係会社ではなく、ブルームバークおよびUBSは、三菱UFJ国際投信が運用するファンドを承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバークおよびUBSのいずれも、ブルームバーク商品指数(Bloomberg Commodity IndexSM)に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。ブルームバーク商品指数トータルリターン(円換算ベース)は、ブルームバーク商品指数トータルリターンをもとに、委託会社が計算したものです。
 - ・無担保コール翌日物レートとは、金融機関同士が短期資金の貸借を行うコール市場において、翌日返済とした無担保取引の際の金利をいいます。
- (注)投資する投資信託証券には、ベンチマークが設定されていない場合があります。

三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)(安定成長型)
〈愛称:ファーストラップ(ちょうわ)〉

月次レポート

 2022年
 05月31日現在

追加型投信／内外／資産複合

■運用担当者コメント
【市況概要】
＜内外株式＞

先進国の株式市況は、まちまちの動きとなりました。米国では金融引き締め継続や景気の先行き懸念などを背景に下落しました。欧州および国内の株式市況は下落する局面もありましたが、月を通してみると上昇しました。新興国の株式市況は概ね上昇しました。

＜内外債券＞

先進国の債券利回りは、まちまちの動きとなりました。米国では、金融引き締めが継続するとの懸念などから上昇する局面もありましたが、景気や物価の先行き懸念などを背景に月を通してみると低下しました。欧州では金融政策正常化の観測などを背景に上昇しました。国内の債券利回りはほぼ横ばいとなりました。新興国の債券利回りは、スプレッド(米国金利に対する利回り差)が拡大したことなどを背景に概ね上昇しました。

＜オルタナティブ＞

先進国(除く日本)の不動産投資信託(REIT)市況は、景気先行き懸念などを受け下落しました。日本の不動産投資信託市況は上昇しました。金価格は、米金融引き締め継続懸念などを受け下落しました。原油は、欧州連合(EU)によるロシア産原油の禁輸観測などから上昇しました。

＜為替＞

為替市場では、米ドルは日米金利差縮小などから円に対して下落しました。ユーロは、欧州での金融政策正常化の観測などから円に対して上昇しました。

【三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)の運用状況】

基準価額は下落しました。

資産クラス別では、オルタナティブなどがマイナスに影響しました。

ファンド別では、「ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンドークラスB・円・アキュムレーション」などがマイナスに影響しました。

【三菱UFJ アドバンス・バランス(安定成長型)の運用状況】

基準価額は下落しました。

資産クラス別では、オルタナティブなどがマイナスに影響しました。

ファンド別では、「MUAM G-REITマザーファンド」などがマイナスに影響しました。

・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)／(安定成長型)

〈愛称:ファーストラップ(ちょうわ)〉

追加型投信／内外／資産複合

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

日本を含む世界各国の株式、債券ならびに不動産投資信託証券、商品(コモディティ)、およびヘッジファンド等のオルタナティブ資産を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得および利子収益の確保をめざします。

■ファンドの特色

投資対象 各種投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の株式、債券ならびに不動産投資信託証券、商品(以下、「コモディティ」といいます。)、およびヘッジファンド等のオルタナティブ資産に実質的な投資を行います。

※オルタナティブ資産とは

「オルタナティブ」とは「～の代わりに、代替」と訳され、投資の世界で「オルタナティブ資産」というと、株式や債券とは異なる値動きが想定される投資対象資産もしくは運用手法のことをいいます。こうした値動きの異なる資産を株式や債券と組み合わせることで分散投資の効果をねらいます。

※不動産投資信託証券とは

不動産投資法人の投資証券または不動産投資信託の受益証券をいいます。多数の投資家から資金を集めて不動産を所有、管理、運営し、そこから生じる賃貸料収入や売却益を投資家に分配する商品で、一般的にREIT(リート:Real Estate Investment Trust)と呼ばれています。分配金の原資は主に多数の物件からの賃貸料収入などです。

※ヘッジファンドとは

裁定取引や先物取引といったデリバティブ等の活用により、市場動向に左右されないリターンを獲得をめざすファンドのことをいいます。

投資対象は、株式、債券、為替、商品など多岐にわたります。

・お客様のリスク許容度に応じた「三菱UFJ アドバンス・バランス(安定型)」と「三菱UFJ アドバンス・バランス(安定成長型)」の2ファンドをご用意いたします。

運用方法 世界の多種多様な投資対象に分散投資を行います。

・各資産への投資割合、投資対象とする投資信託証券およびその投資比率は、三菱UFJ信託銀行の投資助言に基づき決定します。

為替対応方針 原則として、為替ヘッジを行いません。

・組入投資信託証券によっては、実質的な組入外貨建資産について為替ヘッジを行う場合があります。

■ファンドの仕組み

・運用はファンド・オブ・ファンズ方式により行います。

・各ファンド間でスイッチングが可能です。なお、スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

<投資対象ファンド>(次ページに続きます。)

TOPIXマザーファンド

JPX日経400インデックスマザーファンド

日本株インカム・マザーファンド

日本株オープン「35」マザーファンド

日本・小型株・ファンド・マザーファンド

日本株式最小分散インデックスマザーファンド

ジャパン・アクティブ・マザーファンド

日本株ESGアクティブマザーファンド

日本債券インデックスマザーファンド

三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド

先進国高格付国債マザーファンド

ショートデュレーション円インカムマザーファンド

東証REIT指数マザーファンド

MUAM G-REITマザーファンド

コモディティインデックスマザーファンド

日本株マーケットニュートラル・マザーファンド

先進国ロング・ショート戦略マザーファンド

JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド

ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンドークラスB・円・アキュムレーション

ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスB・JPY・アキュムレーション

スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・サステナビリティ・ファンドークラスⅢ・JPY・アキュムレーション

アドバンス・バランス I (FOFs用)(適格機関投資家限定)((安定型)が投資します。)/アドバンス・バランス II (FOFs用)(適格機関投資家限定)((安定成長型)が投資します。)

MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド※¹ / フランス国債7-10年ラダーマザーファンド※¹

ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド※¹ / 外国株式インデックスマザーファンド※¹

好配当海外株マザーファンド※¹ / 先進国株式最小分散インデックスマザーファンド※¹

先進国株式クオリティ・インデックスマザーファンド※¹ / 先進国株式ESGインデックスマザーファンド※¹

外国債券インデックスマザーファンド※¹ / 新興国株式インデックスマザーファンド※¹

新興国債券インデックスマザーファンド※¹

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJアドバンス・バランス(安定型)／(安定成長型) (愛称:ファーストラップ(ちょうわ))

追加型投信／内外／資産複合

ファンドの目的・特色

＜投資対象ファンド＞

アドバンス・バランスⅢ(FOFs用)(適格機関投資家限定)((安定型)が投資します。)/アドバンス・バランスⅣ(FOFs用)(適格機関投資家限定)((安定成長型)が投資します。)

ジャパンESGセレクト・リーダーズインデックスマザーファンド^{※2}/日本超長期国債インデックスマザーファンド^{※2}

マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり>(FOFs用)(適格機関投資家限定)

マッコーリー グローバル・インフラ債券マザーファンド^{※3}

マッコーリー グローバル・インフラ株式ファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)(注)

マッコーリー グローバル・インフラ株式マザーファンド^{※4(注)}

グローバル・フランチャイズ・ファンド M-2(適格機関投資家専用)

グローバル・フランチャイズ・マザーファンドⅡ^{※5}

MUIジャジメンタルL/S「バランス型」ファンド1(適格機関投資家向け)

MUIジャジメンタルL/S「バリュー」マザーファンド^{※6}/MUIベータ戦略型シングル・アルファマザーファンド^{※6}

MUIジャジメンタルL/S「インフラ資源」マザーファンド^{※6}/MUIジャジメンタルL/S「金融」マザーファンド^{※6}

MUIジャジメンタルL/S「テック」マザーファンド^{※6}/MUIクオンツ・ベータヘッジ高配当利回り型マザーファンド^{※6}

グローバル社債ファンド T(適格機関投資家専用)

グローバル社債マザーファンド^{※7}

※1 アドバンス・バランスⅠ(FOFs用)(適格機関投資家限定)/アドバンス・バランスⅡ(FOFs用)(適格機関投資家限定)を通じて組入を行います。

※2 アドバンス・バランスⅢ(FOFs用)(適格機関投資家限定)/アドバンス・バランスⅣ(FOFs用)(適格機関投資家限定)を通じて組入を行います。

※3 マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり>(FOFs用)(適格機関投資家限定)を通じて組入を行います。

※4 マッコーリー グローバル・インフラ株式ファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)を通じて組入を行います。

※5 グローバル・フランチャイズ・ファンド M-2(適格機関投資家専用)を通じて組入を行います。

※6 MUIジャジメンタルL/S「バランス型」ファンド1(適格機関投資家向け)を通じて組入を行います。

※7 グローバル社債ファンド T(適格機関投資家専用)を通じて組入を行います。

(注)組入投資信託証券の入れ替えに伴い、2022年11月5日に投資対象から削除する予定です。

■分配方針

・年1回の決算時(2月5日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。(次ページに続きます。)

価格変動リスク
一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動します。また、不動産投資信託証券の価格は、保有不動産等の価値やそこから得られる収益の増減により変動し、コモディティの価格は需給関係や為替、金利の変化等により変動し、デリバティブ取引の価格は金利変動、株価変動、為替変動等により変動します。また、ヘッジファンドのパフォーマンスは運用者の運用能力に大きく依存するため、市場動向に関わらず損失が発生する場合があります。そのため、ファンドはそれらの影響を受け組入投資信託証券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

為替変動リスク
組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。なお、投資対象とする投資信託証券の一部については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨建の金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

ペイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバースファイド・リターン・円ファンドークラスB・円・アキュムレーションの組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図る場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJアドバンス・バランス(安定型)／(安定成長型)

〈愛称:ファーストラップ(ちょうわ)〉

追加型投信／内外／資産複合

投資リスク

信用 リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。また、不動産投資信託証券や上場投資信託証券(ETF)は、株式と比べ市場規模が小さく、一般的に取引量も少ないため、流動性リスクも高い傾向にあります。
カントリー・ リスク	新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
 - ・ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
 - ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ロンドン証券取引所、ロンドンの銀行の休業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付 の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	2025年2月5日まで(2015年2月20日設定)
繰上償還	各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年2月5日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。) 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJアドバンス・バランス(安定型)／(安定成長型) (愛称:ファーストラップ(ちょうわ))

追加型投信／内外／資産複合

手続・手数料等

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限2.2%(税抜 2%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

当該ファンド	日々の純資産総額に対して、 年率1.43%(税抜 年率1.3%) をかけた額
投資対象とする投資信託証券	投資対象ファンドの純資産総額に対して 年率0%~0.28%(税込)程度^(*) (*)ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬は最大年率0.82%程度です。
運用管理費用(信託報酬)	当該ファンドの純資産総額に対して 年率1.43%~1.71%(税込)程度 ※投資対象とする投資信託証券における料率を含めた実質的な信託報酬率(概算値)を算出したものです(2022年5月7日現在)。各投資信託証券への投資比率が変動する可能性や投資信託証券の変更の可能性があること、また別途成功報酬がかかる投資信託証券が含まれていることから、実質的な料率は変動します。したがって事前に固定の料率、上限額等を表示することはできません。 ※上場投資信託(リート)は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示しておりません。
その他の費用・手数料	監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・投資対象とする投資信託証券の購入・換金に伴う信託財産留保額・投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会:一般社団法人 投資信託協会
一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>
<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034
(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: 三菱UFJ アドバンス・バランス

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
	登録金融機関	登録番号				
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○